

麻生中学校区地域教育会議だより

第29号

ひだまり

発行：平成24年3月6日

発着：麻生中学校区

地域教育会議 広報



「はやぶさ」をとえに

麻生中学校校長 佐藤 剛



梅もほころび、ほのかな香りを漂わせてまいりました。みなさまにはますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。

日頃より、地域の子どもたちを温かく見守っていただき、ありがとうございます。

昨年は3.11以降新たな局面を迎え、早速に、廣瀬議長のもと「ひだまり防災イベント」と銘打ち、地域防災の新たな取り組みがなされました。防災備蓄庫は麻生中学校に設置されています。そこから防災用品を麻生小学校に移動し、小学校の備品を活用して、様々な体験がなされました。実際にやってみて、わかることがたくさんありました。傾斜式非難袋での滑り下り、非常食アルファ米の炊き出し、ドラム缶風呂など、子どもたちがそそられる体験が用意され、楽しい一日もありました。最初の一步を踏み出してくださった議長始め委員の皆さまの実行力に感服しております。大地震が子どもらの一生のうちにほぼ必ず来ることは事実のようです。どんなことが起こっても、動じずに、状況を判断して行動していく子どもを育てたいとしみじみ思いました。

学校では、一番のセキュリティはお互いの気付きであると話をしています。「アンテナ アップ、レーダーオン」で一声かけあうことで、未然に防止できることがたくさんあるかと思っています。

一方、保護者の方から「息子は外では健気に活動してるようですが、家に帰るとぶっきらぼうで話もしない」と伺うことがあります。身近に居ながら、交信不能の状態ですね。正に子育ての壁だと思っています。ここで、行方不明の「はやぶさ」を息子にたとえ、交信を続けて地球帰還させた「はやぶさチーム」の話が思い出されます。それは「1bit（ワンビット）通信」です。1bit とは、1秒間に1ビットの情報しか来ないような状態を言います。つまり、1秒間に「イエス」または「ノー」という答えしか相手からは反応がないということです。こちらからは単純な問いかけしかできませんし、いつ繋がるかわからないので、ずっと見守らなければならないそうです。交信には途轍もなく根気が必要で、単調で消耗感の大きい作業を乗り越えなくてはならなかったといえます。どこか、10代の子どもとのかかわりを彷彿させるようです。

「ひだまり」を合言葉に、大人どうしが暖かい空気を醸し出し、いろいろなところからワンビット通信を行い、子どもたちを包み込んで、絆を強めていけたらと思います。

今年度も素晴らしい活動ができました。関係の皆さま本当にありがとうございました。本会議の益々のご発展を祈念いたします。



～活動報告～

ひだまり大作戦 12月4日(日曜日)

開催日の12月3日が雨天のため、翌4日日曜日に日程を変更し、今年で5回目の“ひだまり大作戦”を開催しました。前日の雨が嘘のような晴天に恵まれ、福島原発事故による放射線等の問題を考えて、落ち葉拾いこそ中止しましたが今年も、万福寺おやしろ公園、上麻生隠れ谷公園、山口白山公園、鶴亀松公園を中心に中学校までの通学路を清掃することができました。日程変更があったので参加できない方も多くいましたがそれでも昨年の7割、約400名の参加があり大作戦を開催することができました。

中学校の校庭での、焼き芋大会では、卓球部、剣道部、生徒会を中心に中学生が活躍してくれました。

中学校PTAによる「とん汁」や、畳を焼いた「焼き芋」、ドラム缶で作る「石焼き芋」が用意され、大盛況でした。



(石焼き芋のドラム缶)



(クイズ大会)

イベントに於いては、おとなバンド、麻生中ダンス部のパフォーマンスが中止になりましたが、麻生小の小学生達による麻生チアリーディングや和太鼓こだま&じゅげむ、生徒会のクイズ大会が行われたりと、焼き芋ととん汁を食べたりしながら、皆さんと楽しく過ごしました。終わりの片付けでは、生徒会の呼びかけに応じ、午前中部活だ

ったソフト部やバトミントン部や一般で参加していた生徒も進んで片付けに協力してくれさわやかな気分で会を終えることができました。



(和太鼓こだまの演技)

(麻生小チアリーディング)

来年もさらに素晴らしいイベントにしていきたいと思います。
開催にあたりご協力頂きました皆様、ありがとうございました。



冬期地域パトロール 12月16日(金) 16:30～

放課後の子ども達の様子を知るとともに、子ども達の安全対策を考えながら、16:30より約40分間、新百合ヶ丘駅周辺を6コース、中学校周辺を1コースの計7コースに分かれ、約50名の保護者、教職員、地域の方でパトロール活動を行いました。実際に通学路を巡回し、暗く人通りの少ない所などが見受けられ、子ども達の安全対策について考えるきっかけになりました。日常の危険な場所等の情報を共有し、子ども達への呼びかけやパトロール活動を行いたいと思います。寒さの厳しい中をご参加いただきありがとうございました。



今後とも多くの方のご協力をよろしくお願い致します。

23年度教育講演会

教育講演会 12月19日(月曜日)

元Jリーグ全日本代表 箕輪義信氏 講演会

「^{ふとうふくつ}
不撓不屈」

麻生中学校体育館にて、麻生中生徒、教職員、地域の方(麻生中、小 保護者)を対象に箕輪義信氏に講演会をしていただきました。

箕輪氏は何度ものアキレス腱手術など困難を乗り越え、日本サッカーを支えてきました。すべては、やるか、やらないか。夢を語るのではなく、野望を持つ、自分を知り、自分で考え、自分のセンスで生き、決して人のせいにならない ‘impossible is nothing’ 前向きな考え方で、進んでいくことの大切さをお話してくださいました。

終了後の生徒にアンケートを行いました。箕輪氏の精神は多くの生徒の心に届いたようでした。放課後校長室の箕輪氏と直接話にくる生徒も何名かいました。

2月23日(木)に麻生小学校での「教育を語る会」でも6年生を対象とした箕輪氏の講演会が行われました。

編集後記

平成23年度「麻生中学校区地域教育会議」の事業終了にあたり、皆様方のご協力にお礼を申し上げます。これからも子ども達の健全な成長を願い、学校・地域がともに手を携え、守り、育てていけるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



麻生中学校区地域教育会議の活動の様子をホームページでご覧になれます。

<http://www.club-ours.com/community/hidamari/>